

## 第2学年 生活科 授業構想シート

授業者 田中 伸一

|         |   |
|---------|---|
| 本実践の主張点 | いろいろなものを混ぜた土で、大根を育てさせることで、土と植物の関わり等に気付き、汎用的な思考力や判断力を育むことができるであろう。 |
|---------|---|

### 1. 単元名 元気な野さいをそだてよう

### 2. 2年A組の子ども

|  |
|--|
| <p>1学期は自分で選んだ夏野菜を大切に世話し育て上げることができた。野菜を大きく育てるために大切なことは、水やり（頻度や量）、太陽（雨が続くとミニトマトの実が赤くならなかった）、根（土から栄養を吸収する）、そして毎日の世話をし続けることであると体験をとおして学ぶことができた。「世話をしたらぐんぐん伸びる」「早く育てて食べたい」という思いをもって毎日世話をした結果、苦手な野菜も自分たちで調理し食べることができた。2学期は1学期から育ててきた夏野菜の根の周りの土を落とし、観察した時の「根が袋いっぱい張っている」という子どもたちの驚きの声から学習が始まった。目に見えていなかった根と土の関係を観察し、「元気な野菜を作る土作り」に向けて、一人一人が工夫しながら野菜を元気にしようと取り組んでいる。</p> |
|--|

### 3. 何ができるようになるか

|     |   |
|-----|---|
| 探究力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしたら「元気な野菜を作るための元気な土を作る」ことができるのかという視点を持ち、自然環境を観察した気付きや今までのお世話の経験を活かし、うまくいったこと、困っていることを共有し、よりよい方法を見つけようとする。</li> </ul> |
| 省察性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい方法を試した結果から、野菜がどう育っているか自分と友達の大根を比べて観察し、自分の思いにあった野菜作り・土作りになっているかを振り返り、自分の野菜作り・土作りに生かそうと工夫していく。</li> </ul>            |

### 4. 何を学ぶのか

#### ① 単元の目標

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気な野菜を育てるには、土の成分の違いが野菜の育ちに関係があると気付くことができる。</li> <li>・ 元気な野菜を育てるためにはどんな土がいいのか工夫して土作りをする。</li> <li>・ 進んで自分で作った土を使って元気な野菜を育てようと楽しく世話することができる。</li> </ul> |
|--|

#### ② 教材の価値

|   |
|---|
| <p>1学期の野菜作りでは「大きく育てる」という子どもの願いのもと取り組み、水やり、日光、毎日様子を見て虫取りや草取り、状態に合わせた世話が必要であると気付いた。それに加えて、元気な野菜作りには、どのような土で育てるかということも重要である。2学期は「元気な野菜を育てるための土作り」をテーマに学習を繋げていく。使う土の場所、手触り、成分が育ちにどんな影響を与えるか遊びながら土作りをすることで、土に含まれているものや育ちに影響を与えるもの、土の硬さ等に気付かせていきたい。子どもたちの身の回りには夏野菜を育てた土、おくやまの土、運動場の土等の種類が違う土がたくさんある。そこに元気な野菜を育てるための肥料として何を混ぜるのか、落ち葉、もみ殻、卵の殻、…、自然にあるものや使い終わったものを利用し、肥料にするための混ぜ方も、葉は細かい方がいいのか、雑草の根は入れるのか等、子どもたち一人一人が思い思いに土作りに取り組むことができるだろう。大根を世話する中で、「土によって育ちに違いがあるんだ」という気付きから「次の野菜を育てる時に土作りも工夫してみよう」と世話した経験を生かそうとする子どもの姿を期待する。</p> |
|---|

③ 学年間・教科間のつながり

本実践で扱う題材は、1学期の「野さいをそだてよう」から繋がり、生活科「みんな生きている」と関連させながら学習を進めていく。ミミズ、ダンゴムシ、幼虫、…、これらの虫を育てるためには土が必要になる。土作りをとおして、虫や植物、野菜の命を育てる土について学んでいく。元気に育つ植物のそばを住処にしている生き物たちを観察することで、どんな自然環境で助け合っていることに気付いていくことができると考えている。観察においては国語科「かんさつ名人になろう」で学習した観察の視点、算数科「長さ」で学習した測り方を活用し、生活において実感を伴って理解できるようにしていく。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる   
 つなげる   
 まとめる   
 広げる   
予想する   
見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

| <p>単元計画（全16時間） 本時 13/16</p> <p>第1次 夏野菜の観察をしよう！ 2時間<br/>本当に根が動いてた？根の張り方調べ</p> <p>第2次 土作り名人になろう！5時間<br/>1. 土調べ 2. 土の状態<br/>3. 土に混ざっているもの 4. 配合して作る</p> <p>第3次 元気にそだてよう！ 5時間<br/>1. 間引き 2. 虫問題<br/>3. 葉が黄色になった 4. 野菜先生にお尋ね</p> <p>第4次 収穫しよう！ 1時間<br/>大根チャンピオンのひみつをさぐろう（本時）</p> <p>第5次 2A野菜フェスタを開こう 3時間</p> <p>※大根の収穫後、冬野菜を育てる活動へ</p> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一苗袋栽培で世話させることで、課題意識をもたせる。</li> <li>・ 育て方や課題について調べさせ、試させ、比べさせることで、よりよい方法を考えさせる。</li> <li>・ 野菜先生と関わらせる中で、言葉や、知恵、工夫に触れることで、野菜づくりにこだわりをもって取り組ませる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの野菜に対する働きかけに対して「どうだったのか。」と継続して振り返らせることで、自分の思いに合った土作り・野菜作りになるよう工夫させる。</li> <li>・ 手を加えてない土を使った袋栽培と自分で栽培した大根を比較させることで、効果が分かるようにさせる。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> |  | 単元における授業づくりのしかけ | 探究力を育む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一苗袋栽培で世話させることで、課題意識をもたせる。</li> <li>・ 育て方や課題について調べさせ、試させ、比べさせることで、よりよい方法を考えさせる。</li> <li>・ 野菜先生と関わらせる中で、言葉や、知恵、工夫に触れることで、野菜づくりにこだわりをもって取り組ませる。</li> </ul> | 省察性を育む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの野菜に対する働きかけに対して「どうだったのか。」と継続して振り返らせることで、自分の思いに合った土作り・野菜作りになるよう工夫させる。</li> <li>・ 手を加えてない土を使った袋栽培と自分で栽培した大根を比較させることで、効果が分かるようにさせる。</li> </ul> |
|---|--|--|-----------------|--------|---|--------|--|
|   | 単元における授業づくりのしかけ  |  |                 |        |   |        |  |
| 探究力を育む  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一苗袋栽培で世話させることで、課題意識をもたせる。</li> <li>・ 育て方や課題について調べさせ、試させ、比べさせることで、よりよい方法を考えさせる。</li> <li>・ 野菜先生と関わらせる中で、言葉や、知恵、工夫に触れることで、野菜づくりにこだわりをもって取り組ませる。</li> </ul>  |  |                 |        |   |        |  |
| 省察性を育む  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの野菜に対する働きかけに対して「どうだったのか。」と継続して振り返らせることで、自分の思いに合った土作り・野菜作りになるよう工夫させる。</li> <li>・ 手を加えてない土を使った袋栽培と自分で栽培した大根を比較させることで、効果が分かるようにさせる。</li> </ul>   |  |                 |        |   |        |  |

6. 何が身に付いたか

|      | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|------|--|---|--|
| 評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜を元気に育てる土には、土の柔らかさ、粒の大きさ等に関わりがあることに気付く。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気な野菜を育てるための土について考え、元気な野菜を育てる土作りを自分なりに工夫する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜への親しみをもち、大切に育てようとしている。</li> </ul> |

## 生活科学習指導本時案

授業者 田中 伸一

日時：令和元年11月3日（日）第2校時（10：10～10：55）

対象：第2学年A組 30人

場所：2年A組教室

|        |   |
|--------|---|
| 本時の主張点 | 観察をとおして野菜の様子を比べさせることにより、元気な野菜を育てるための土作りについて実感を伴って考えようとする探究的な学びが実現できるであろう。 |
|--------|---|

### 1. 本時の構想と学習課題について

野菜の栽培を始めてから、それぞれの野菜はかなり大きくなってきた。1学期の夏野菜作りの経験を生かし、水やりの仕方、日照、毎日の丁寧な観察を続けている成果である。元気に育っている自然の植物の環境を観察し、どんな土だとよく育っているのか、土の色、硬さ・柔らかさ、匂い、重さ、量などを自分たちの農園や袋栽培で再現しようとして取り組んでいる。元気に育っている自然の植物の環境には葉が積もっていたり、朽ちていたり、ミミズやダンゴムシなどの虫がいた。観察した自然環境を基に、土や肥料になると考えたものを混ぜた土による栽培により、一人一人の大根の成長の様子に差が見られるようになってきている。本時では、一人一人が大切に育てた大根を収穫する。収穫し観察することで、葉の緑色の濃さ、大きさ、厚さ等や、茎の太さ、長さ、あるいは2股になっているか等成長の様子の違いに気付くことができる。このような気付きから本時の学習課題として、「大根チャンピオンのひみつをさぐる」を設定する。実際に観察しながら比べる活動をとおして、大根チャンピオンはどれか、どうしてその大根をチャンピオンに選んだかを子どもたちが調べる。そして、どうすればチャンピオンになるのかを語らせる中で、大根の根の成長には土の成分の違いが関係しているようだということに実際に気付き考えることができる授業にしていきたい。

### 2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時における探究的な学びは、元気な野菜を育てるためにどんな土作りをしているか、実際に収穫した大根を観察し、気付きの交流をとおして、自分も更に試してみたいという思いをもち取り組むことで土の大切さに目を向ける学びとする。そのためにも、土による野菜の育ち具合の比較だけではなく、何をどのくらい混ぜているのか、土の状態はどうか目を向けさせ、自分の土との違いに気付かせたい。本時においては、自分の思いにあった野菜作り・土作りになっているかこれまでの野菜の成長を根の状態とともに振り返ろうとする省察性が働くことで、更に土作りを工夫しながら次の野菜を育てたいという意欲をもって取り組む姿を期待している。

### 3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

生活科「野さいをそだてよう」で、元気な野菜を育てるためには「根を動かす」ことの大切さについて予想し考えた。また、国語科「かんさつ名人になろう」の学習をとおして学んだ丁寧に観察する力を活用することにより、植物の変化や成長を比べて、土の違いが成長の違いと関わっているのではないかと気付く。子どもたちが1、2学期をとおして元気な野菜かどうかを判断する基準は「葉の色」「葉の大きさ」「茎の太さ」であった。長期間野菜を栽培してくる中で、「葉」「茎」の変化を敏感に観察することができた。本時では様々な土による「根」の育ち具合を比較させる。観察を通して元気に育っている野菜は「根」がしっかり太く育っている。「葉」「茎」という見える部分での成長の判断に加え、栄養ある土で育っている「根」の観察をとおして、土に栄養があるかどうか判断する材料の一つとして活用させたい。

#### 4. 本時の目標

大根の成長の様子の観察を通して、自分が試してきた虫対策の途中経過について交流し、今後どのような方法が良いか考え、試そうとすることができる。

#### 5. 本時の展開

| 学習活動と予想される子どもの反応   | 留意点・評価   |
|--|--|
| 1. 単元のめあてを確認する。  |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">1 学期よりもっと自分たちで元気な野菜をそだてよう。自分の土と肥料で！自分のアイテムで！</div>                 |  |
| 2. 今日の大根の様子を交流する。<br><困っていること><br>○虫に食べられてしまった。  | ・困っていることを話題にするようにする。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">みんなで虫よけはかせになろう！</div>  |  |
| 3. うまくいっている友達の話の聞いたり、観察して違いを見つけたりして、みんなで虫よけ対策の改善策を考える。<br>○うまくいっている友達との違いを見つける<br>○うまくいっていない友達の共通点を見つける<br>○うまくいっている、いっていない大根を比べる<br>○いくつかの方法を組み合わせることに気付く | T: うまくいっている友達との違いは何でしょうか。<br>・トラップ、ネット、匂い作戦について1つずつ取り上げる。<br>・困っている人の対策、うまくいっている人の対策を比較させ、違いを見つけさせる。<br>・実際に見て観察できるように場づくりを行う。 |
| 4. これからの虫よけ対策について考えて、活動する。<br>○うまくいっている人に話を聞きに行く<br>○やってみたい方法を試してみる。   | ・困っている人の改善策を考え、今できることであれば試してよいことを伝える。<br>思 大根の葉の観察を通して、自分で考えた虫よけ対策による大根の様子の違いから、虫よけ対策の効果を考え、試そうとしている。                          |
| 5. ふりかえりでワークシートに困っていること（ある人）、今日考えたことや分かったこと、これからやってみたい方法を書く。<br><自分の大根の虫よけ対策に取り入れたい工夫>   | T: 今日考えたことや、マネしたい、次やってみたいと思った工夫は何ですか。  |